

1、事業活動報告

- ①川崎市条例指定申請再挑戦の準備期間として、引き続き法令遵守、部門別実績集計や複式簿記を始めとする経理について行ってきました。物品請求の仕分け、ボランティア総合補償保険料の見直し等で出費を抑えることができました。
- ②主な事業についての実績は、以下の事業内容一覧にありますが、移送サービス・生活支援サービス共に昨年度より件数が増加しました。(移送サービス前年度比 110.9%、生活支援サービス前年度比 237%) サービス付高齢者向け住宅を含めそれぞれの事業の特徴については、サービス別の報告をご覧ください。
- ③移送事業・生活支援については、利用者の要望にできるだけ応えられるよう体制強化に取り組みました。運転ボランティアについて、1名の参加がありました。
- ④継続した活動のための組織強化として、正会員・賛助会員の募集、正会員退会などの整理、又、あらためてNPOレインボーの活動を知らせていく活動(パンフレット、ニュースの発行)を行いました。
- ⑤総会方針に伴い、入会金、及び年会費、利用会員入会金などの改定について関係事業所、利用者へのお知らせを行い、年会費について徴収を行いました。
- ⑥職員(生活相談員)、運転ボランティアの研修や交流会を計画しました。
生活相談員は、1月に「シニア傾聴講座」(傾聴事例、ロールプレイ等)、相談員交流会(参加8名)を行いました。
運転ボランティアについては、11月に川崎警察の協力を得て「安全運転講習会」を計画しましたが、参加が厳しく中止となりました。
- ⑦寄付金は多くの方の協力を得て110名より126,000円いただきました。
- ⑧今後のNPOレインボーの活動について活動全般の見直しや中期的方針について協議を開始しました。サービス利用料の値上げ等を検討しました。送迎サービスについては、当面現行通りとし、生活支援サービスについては、値上げを行っていくことにしました。2020年度10月施行に向けて準備中です。
- ⑨新型コロナウイルスへの対応と対策を行いました。

2、事業の内容

主な事業	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲, 人員	事業費用
①高齢者、障がい者等の通院送迎、入退院・施設への入退所、日常生活の外出支援等の有償移送支援事業	高齢者、障がい者等の移送	通年	川崎市を中心とした地域	4人	・移送支援を必要とする高齢者及び障がい者1417人 (前年度比110.9%)	1,597,512円
②公的な福祉サービスでは対応できない高齢者、障がい者等を中心に有償生活支援事業	高齢者、障がい者等の生活支援	通年	川崎市を中心とした地域	5人	・介護保険外高齢者及び障がい者101.5時間(前年度比237%)	147,150円
③高齢者、障がい者等の相談窓口の配置、運営事業	電話、Eメール等の相談	通年	法人事務所	2人	川崎市を中心とした高齢者障がい者	
④高齢者、障がい者等の移送、生活支援に関する情報交換及び研修事業	他団体が行う移送、生活支援に関する安全研修	通年	かながわ移動ネットサービス、神奈川ドライバーズネット主催の会	3人	川崎市内在住者でボランティア活動に関心のある方	
⑤高齢者、障がい者等の住まいの相談及びサービス付き高齢者向け住宅の管理運営事業	入居者への基本サービス提供を含むサービス付き高齢者向け住宅管理全般、相談者に応じた入居情報の提供	通年	「レインボーの家川崎大師町」 「レインボーの家上平間」	10人	60歳以上の単身高齢者、障害者の居住者、および住まいを探している方	7,702,268円
⑥施設への通院送迎、移送サービスの業務委託事業	施設への通院送迎、移送サービスの業務委託事業	通年	川崎市を中心とした地域	0人	施設通院送迎、移送が必要な高齢者、障害者	—